神戸芸術工科大学保護者向け情報誌『ケイディユーアイ』

KDUi

Kobe Design University information

2023・3 No.95
Vol.34-2

CONTENTS

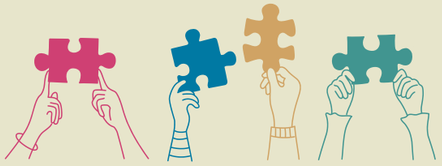
02 〈特集〉神戸芸工大生のいま ― 社会連携プロジェクト
06 〈特集〉神戸芸工大生の未来 ―内定者インタビュー
キャリアセンターについて ～ 保護者のみなさまへ ～
09 活躍する卒業生からのメッセージ
10 国際交流 ― 異文化交流プロジェクト
11 教育後援会からのお知らせ／教育懇談会・芸工祭について
12 行事予定／事務局からのお知らせ

「KDUi」は神戸芸工大生の活躍や学内行事などの情報、就活サポートに関する情報などを掲載しております。ぜひお子様とのコミュニケーションツールとしてご活用ください。

特集

神戸芸工大生のいま

社会連携プロジェクトで社会に求められるデザイン力を



本学では地域社会や企業、行政と連携し、さまざまなプロジェクトを展開しています。社会からの要請に応じて作品を創造し発信する中で、社会に求められる力を身につけ、開かれたデザインの力を養っていきます。今回は4学科のプロジェクトを紹介します。

六甲高山植物園×ファッションデザイン学科

「小便小僧　冬支度プロジェクト～小便小僧のマント着せ行事～」

歴史を刻むマントの制作

49回目を迎えた六甲高山植物園「小便小僧のマント着せ行事」。六甲高山植物園と本学ファッションデザイン学科によるこの連携プロジェクトは2012年にスタートし、延べ11回の行事参加を果たしています。毎年、年度初めに六甲高山植物園より園内の植物から選定されたテーマをいただき、学生たちがデザインを考えます。集まったデザイン画より初夏から8月末にかけて園内にて一般来場客による投票が行われ、投票数の一番多かった作品を作者自身が実物を制作し、11月初旬のマント着せセレモニーでお披露目されます。過去11回にわたり、さまざまなテーマから発想される柔軟で独創的なデザインのマントは、六甲高山植物園を訪れる人々を楽しませています。

毎年冬の始まりには、このプロジェクトが多くのメディアで取り上げられ、関西では冬の風物詩として定着しています。これからも学生たちの手が、新たな六甲高山植物園の歴史を刻んでいきます。

株式会社こうべ未来都市機構×ビジュアルデザイン学科

キャンパススクエア クリスマス装飾2022「Christmas Flower ～ポインセチアの舞う奇跡～」

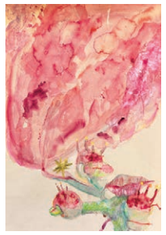
「ポインセチア」をテーマとした絵の提供

11月から12月25日のクリスマス時期にかけて、学園都市のキャンパススクエア内で「クリスマス装飾」が施されることになり、その企画のひとつとして、学生作品を館内に展示することになりました。学生へ参加を呼びかけたところ16名の応募があり、その中から6名の作品が選ばれました。

「ポインセチア」というひとつのモティーフから、さまざまな表現の作品が生まれ、クライアントにも非常に喜んでいただくことができました。

入選者

大高下 陽菜（3年）


杉本 茉莉香（3年）

藤田 陽光（3年）

大塚　匠（2年）

和田 久瑠海（2年）

西尾 真生（1年）

神戸市×ビジュアルデザイン学科

「オレンジリボン・パープルリボン運動」の啓発品

ポケットティッシュのラベル制作

子どもの虐待とDVをなくすことを目標とした「オレンジリボン・パープルリボン運動」の啓発品として、神戸市こども家庭局家庭支援課がポケットティッシュを作成することになり、そこに封入される印刷ラベルのデザインを行いました。

「かわいらしく、柔らかい印象を受けるデザインに。」というクライアントの意向から、イラストレーション・絵本創作コースの学生が、星や太陽をモティーフとしたキャラクターを描き、エディトリアルデザインコースの学生がレイアウトを担当しました。

イラストレーション：安田萌恵　　デザイン：村田　愛

大学コンソーシアムひょうご神戸×ビジュアルデザイン学科

単位互換事業

ポスター・フライヤー制作

他大学の授業が受講でき、さらにそれが所属大学の単位として取得できるという単位互換制度を案内するポスターとフライヤーを制作しました。イラストレーション・絵本創作コースの学生が、大学生たちが通学する風景を描き、エディトリアルデザインコースの学生が、紙面レイアウトを行うという学科内のコラボレーション作品です。

イラストレーション：森　雄大
デザイン：横山梨紅

株式会社こうべ未来都市機構×アート・クラフト学科

「パネルアート・プロジェクト」

アート・クラフト学科では「株式会社こうべ未来都市機構」との産学連携の取り組みとして、大学近隣の5つのショッピングセンターにおいて空き区画を囲うためのパネルをキャンバスに、学生たちが作品を制作する「パネルアート・プロジェクト」を展開しています。店舗入れ替え時に設置する仮囲いは利用客に対し「殺風景」「圧迫感がある」など、ショッピングの楽しさを半減させる印象を与えていました。そこで、本学科の学生たちが神戸の街並みや自然、暮らしや時間などをテーマにオリジナルのデザインを制作し、神戸の街の楽しさや魅力をパネルキャンバスに表現することでショッピングを楽しく演出し、地域社会に貢献しながら各々のクリエイションの可能性を探っています。

株式会社こうべ未来都市機構
× 神戸芸術工科大学
「パネルアートプロジェクト」HP
https://www.kfcc.co.jp/mart/panelart.html

【第1弾】セリオ「神戸の魅力をバッグにつめて」
ポートタワーや異人館、夜景など、神戸のイメージを11人の学生がそれぞれのバッグで表現しました。

【第7弾】プレンティ「神戸バルーン」
神戸の街並みで一番好きな風景や神戸のイメージを題材に、人々がショッピングを楽しむ華やかで楽しい時間が早く戻って来ますようにという思いを込めて描きました。

【第9弾】須磨パティオ「In harmony with animals」
陶芸の手びねり技法を用いて、自然界における多様な生命の共生と調和をテーマに、動物の上に花や植物などを乗せて作陶しました。

ATTA Gallery×アート・クラフト学科

「ジュエリー展inタイ/バンコク」

近年、海外での活動を積極的に行っているジュエリー・メタルワークコースでは、昨年9〜11月にかけてタイのバンコクにあるコンテンポラリージュエリーを扱うATTA Galleryにて、神戸芸術工科大学をフューチャーした展覧会を行いました。「Color-KOBE DESIGN UNIVERSITY-2021」と題したこのグループ展には在学生、卒業生、教員が参加し、それぞれの個性あふれる作品がカラフルな空間を作り上げました。会期中にはオンラインでギャラリーと参加者を繋ぎトークセッションを行うなど、海外に本学のジュエリー作品をアピールするとともに、学生にとって大変刺激となる有意義な企画となりました。

プロダクト・インテリアデザイン学科

「Design Soil」

Design Soilは、2010年にスタートした神戸芸術工科大学のデザインプロジェクトで、家具やインテリアエレメントを中心に創作活動を行い、国内外で作品を発表しています。

DESIGNSOIL

東京・AXISギャラリーでの展示会　Photo: Tomohiko Ogihara

Design Soilでは、教員と学生が「教える」「教えられる」という関係ではなく、"Design Soil"というデザインレーベルを背負う仲間として活動しています。学生でありながらプロのステージで勝負し、プロとして振る舞い、プロとして批評を受けます。個人がひとりで作品を作り上げるのではなく、チームであることを重視しており、ひたすら考え抜くこと、学生同士で議論し合うこと、切磋琢磨することを大切にしています。これは、学生のうちにデザイナーとして社会経験を積むことでもあり、この活動は国内にとどまらず世界の大学や企業からも高く評価されています。

大学をベースとしたDesign Soilは、教育を根幹にしたデザインチームでもあります。向上心を持った学生をさらに高いレベルに引き上げることで、よりいっそうの成長を促します。彼らの成長と活躍が他の学生の目標となり、大学全体の創作活動が活性化していくことを目指しています。

これまで、イタリア・ミラノで開催される世界最高峰のデザインの見本市ミラノデザインウィーク（ミラノサローネ）に8回出展、国内でも神戸を始め大阪、東京などでも展示を行っています。2022年は8月26日から9月4日までの会期で、日本を代表するデザインギャラリーのひとつであるAXISギャラリー（東京）で展覧会を開催し、多くの来場者を集めました。

ミラノ・展示会場でのメンバー集合写真

テーマに関するディスカッションの様子

ミラノサローネまでのスケジュール

4月〜5月	メンバー募集・選考
6月〜7月	専門的デザインのトレーニング
8月	ワークショップ開催
9月	年間テーマ設定・デザイン作業開始
1月	出展作品選考
	デザインのブラッシュアップ
3月	作品完成
4月	ミラノ出展

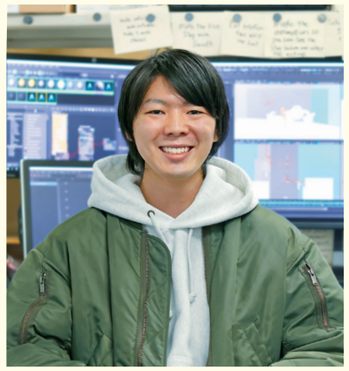
Design Soilに参加した卒業生の声

このプロジェクトに参加した卒業生たちは、企業やデザイン事務所のデザイナーとして、また、自らデザイン事務所や工房、ショップを立ち上げたり、フリーランスで活動したりと、Design Soilの経験を活かして、さまざまなかたちで活躍を続けています。

- 世界のレベルを実際に体験したことにより、自身の中の「造形」の基準が大きく変化しました。
- 人の感性を刺激する体験にフォーカスした家具をデザインしたことが、驚きと感動を与える仕掛けを創造する原点になっています。
- デザインを生み出す苦しさ、ものを作る難しさ、完成する嬉しさ、評価されることの喜びと厳しさを学びました。
- 仲間との議論の中で作品を高めあう環境がとても良い刺激になりました。
- 物事の本質を問う事、粘り強く考える思考力は、今も一番の武器になっています。
- モノを違う目線で捉える作業を通して、常識に捉われない思考を持てるようになりました。
- 本気でデザインに取り組んでいる仲間と出会い、卒業した今も刺激をもらっています。
- 日常に潜むすてきなモノの見方や優しさ、好奇心を広げて多くの気づきを育んでくれた場所です。

特集 神戸芸工大生の未来

夢を形にした３人に成功への道のりについて聞いてみました！



01 内定者インタビュー

アニメーションの技術を高め、キャラクターを自在に動かすゲームアニメーターに

大手国内ゲームメーカー
3DCG アニメーター

映像表現学科　デジタルクリエーションコース
（アメリカ・カリフォルニア州 Mission Viejo High School 卒業）
實末 彼方 さん

就活データ
志望業界：ゲーム業界
インターンシップ参加：１社
説明会参加：８社
活動費用：約 32 万円　※（ハイエンド PC 購入 30 万円、ソフトウエア年間契約２万円）

アニメーションを極めたいという思いを先生が応援してくれた

ゲームがいつも身近にあり、子どもの頃からよく遊んできました。勉強には苦手意識があったので、大学では好きなことを極めたいと思い、選んだのが3DCGでした。少人数制で先生との距離が近い芸工大に入学し、大学で学ぶ中で、キャラクターなどに動きをつけるアニメーションに夢中になり、技術を高めてゲームアニメーションの道に進みたいと思うようになりました。

アニメーションはシステム的な部分が複雑なので習得に時間がかかり、センスも求められます。自分一人で技術力を上げるのは難しいと思ったので、先生に毎週1回作品を見ていただけるようお願いしました。何度修正してもイメージ通りにアニメーションが動かなかったり、センスのなさに落ち込んだりしたこともありましたが、ポジティブな気持ちで続けるうちに納得できる作品を作れるようになりました。

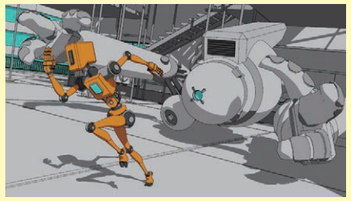
ポートフォリオを作り込み、自信のある作品を揃える

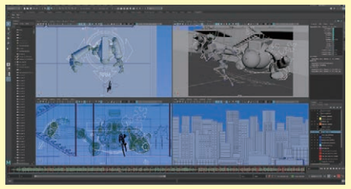
ポートフォリオの制作は、思っていたより何倍も大変でした。途中で行き詰まったり、納得できず破棄したものもありました。それでも、質の高い作品を揃えようと、最後までやり遂げました。制作中に参加したインターンシップ先でポートフォリオを見ていただき、具体的な改善点を指摘していただいたりもしました。そのおかげでエントリーが始まる3月までに、自信のある6作品を揃えることができました。

内々定をいただいたのは、私が初めて遊んだゲームを作った会社です。私には難しいだろうと思っていましたが、挑戦しないままあきらめたくはないと思いエントリーしたところ、うれしい通知をいただくことができました。将来はメインキャラクターのアニメーションを担当し、ゲームをする人々の印象に残る仕事をしたいと思っています。

Pick Up 在学中の取り組み

ゼミ室で日夜制作に没頭し、仲間同士で作品を講評したりしながら、互いを高め合いました。





ヒトやモノの動きを自身の体で再現しながら調整を繰り返し、躍動感あるキャラクターの動きにとことんこだわりました。

ゼミ室にはいつも誰かがいて、仲間の言葉や頑張る姿がとてもよい刺激になりました。

02 内定者インタビュー

志望業界を広げたことで、学んだ技術を生かせる会社と出会えた

晴香堂株式会社
グラフィックデザイナー

まんが表現学科 コミックイラストレーションコース
（兵庫県立加古川西高等学校 卒業）
高木 彩花 さん

就活データ
志望業界：ゲーム業界・グラフィックデザイン
説明会参加：30 社
活動費用：約２万円（交通費１万円、洋服代５千円、写真撮影費２千円）

やりたいこと、やってきたことを生かせる会社を探して

高校生の時は美術部で油絵を描いていました。大学ではイラストの勉強をしたいと思ったので芸工大に進学し、二次元イラストを中心に思う存分学びました。

就職活動では、自分がやりたいこと、やってきたことを活かせる仕事に就きたいと思い、最初はゲーム業界を希望していました。キャラクターや武器などのデザインをしたかったからです。

3年生の1月ごろから企業の合同説明会に参加し、会社や仕事に関する情報を得て視野を広げ、2月末までには、どの企業へのエントリーでも必要となる自己PR文の作成や、ポートフォリオの制作をしました。そして3月に入るとすぐにエントリーを始めました。

キャリアセンターで興味が持てる仕事を見つけた

就職活動を順調に進めることができた人の多くは、夏までに就職が決まっていましたが、私は面接までは進むものの、なかなか内定に至りませんでした。そこで、就活範囲をゲーム業界に絞らず、グラフィックデザインができる会社まで広げようと思いキャリアセンターに相談に行って、晴香堂(株)を勧められました。

晴香堂(株)は、芳香剤の開発から販売までを手がける、まんが表現学科の先輩の就職実績がある会社でした。調べていくうちに、実際の商品開発もキャラクターデザインの延長線上にあると感じ、仕事内容に興味を持ちました。

採用試験では、新商品の提案が課題として出されたので、既存商品のカタログを読み込み、新しいラインナップの提案を試みました。今までに無かった和風のデザインが評価いただけたようで、9月末に内々定をいただくことができました。

就職後はイラストの技術を活かして、会社に貢献したいと思っています。

Pick Up 在学中の取り組み

就活では、今までに作った全作品のポートフォリオの提出が求められ、授業での課題が生かされました。

大学で力を入れて描いてきた二次元作品

採用試験課題で作成したお香の企画・デザイン案

「〆切迫る！」まんが表現学科オフィシャル漫画・イラストレーション誌「トビオ」(vol.16)に掲載されました。

キャリアセンターについて

キャリアセンターは、就職や進学などの進路に関して、学生一人ひとりに寄り添った支援を行っています。１年次の早い時期から、進路について検討することで、目指す目標に向けてしっかりした準備・対策が出来ます。ご家庭でもご子女に是非、キャリアセンターの利用をお勧めください。

キャリアセンターが提供する情報について

キャリアセンターでは、学生のみなさんに様々な情報提供や支援を行っています。

就職・進路相談／就職活動支援（書類添削･面接練習 他）／求人紹介／就職対策講座の実施／企業説明会の開催／資格取得＆スキルアップ講座／ポートフォリオ閲覧／キャリア関連書籍閲覧 他

進路・就職実績を本学ホームページで掲載しています。
https://www.kobe-du.ac.jp/support/career/result/

進路･就職実績
掲載ページQRコード

03 内定者インタビュー

生まれ育った神戸で、人と自然が調和する建築設計をしたい

株式会社 大林組
建築（設計）

大学院 修士課程 総合アート＆デザイン専攻
（神戸芸術工科大学 環境デザイン学科
神戸市立科学技術高等学校 卒業）

黄　裕貴 さん

就活データ
志望業界：建築設計
インターンシップ参加：1社
説明会参加：10社
活動費用：約8万円（制作費1万円、交通費3万円、洋服代3万円、外食費5千円、写真撮影費千円）

人と自然、建築物の調和に魅力を感じて

子どもの頃に祖父とよく山登りをしていて、山道が開発される様子に興味を持っていました。高校で土木や建築の基礎を学び、芸工大に進学。2年生のときに、住宅を設計する課題に取り組んだことがきっかけで、自然の豊かさと、人にとっての心地よさの調和をより深く追求したいと思うようになりました。大学院に進学したのは、三宮に環境調整効果を生かしたビルを建てるという研究に魅力を感じたからです。

博士課程まで進む予定はなかったので、研究をしながら大学院1年生の夏から就職活動を始めました。注目したのは、消費する一次エネルギーの年間での収支をゼロにするZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の建設に力を入れている企業です。

早めに目標を定め、企業の情報収集に着手

学部4年生の時も就職活動をしており、その時にも企業のことを調べていたので、余裕をもって就職活動をすることができたと思います。

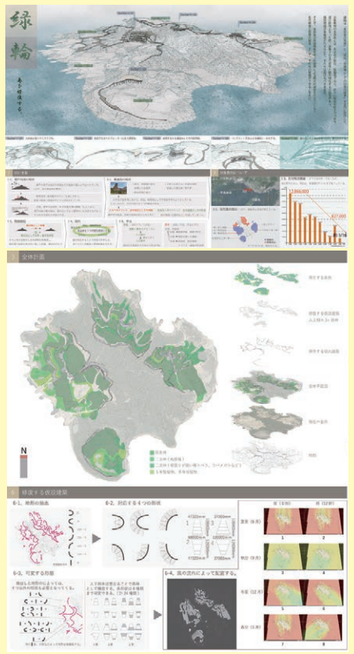
いろんな就活イベントに積極的に参加しました。合同説明会では、エントリーしたいと思っている複数の企業の説明を聞くことができるので、方向性の違いを比較できるというメリットがあります。ただし、1社あたり10分程度の説明時間になるので、自分がその会社の何を知りたいのか、目的をしっかり持って参加するようにしました。

インターンシップに行ったゼネコンでは、設計現場を実際に見ることができました。設計と施工の担当者が密接に連携してプロジェクトを進めていて、仕事の面白さを感じました。ポートフォリオの指導もしていただき、とても有意義な時間でした。

内定をいただいた（株）大林組は、建物の快適性を意識している会社です。将来は、自分が生まれ育った神戸でZEBを建てるプロジェクトに関わりたいと思っています。

Pick Up 在学中の取り組み

課題制作では必ず現場調査をし、実現の可能性にこだわりました、そのことで自身の実力が伸ばすことができたように思います。



学部の卒業制作で瀬戸内海に浮かぶ男鹿島を対象地とし、観光地として保存しつつ、自然を修復する提案を行い、大学院では舞台を都市に変えて緑化の研究を深めました。

保護者のみなさまへ

進路検討や就職活動についての「焦り」や「不安」など学生が抱える悩みは様々です。保護者の皆様には「社会人の先輩として一緒に考え、話し合う機会を増やす」「一番身近な存在として、ご子女の長所や強みを教える」等、サポートをお願いします。一番身近な理解者として温かく見守っていただければと思います。

保護者の方のご相談も随時受け付けております。　**キャリアセンター室／078-794-5035**

活躍する 卒業生からのメッセージ

学びの経験を生かし、社会で活躍する卒業生からメッセージをいただきました。

VOICE 01

神戸市役所　都市局景観政策課　建築技術職員

坂田 知穂さん

環境・建築デザイン学科 2018年卒
大学院 芸術工学研究科 総合アート＆デザイン専攻 2020年卒

今の仕事でのやりがい・楽しさ

山や海の眺望、夜間景観の形成、景観上重要な建築物等の保全・活用など、神戸らしさを守り、育て、市民はもちろん、来街者にも愛される神戸を目指して、日々職務に取り組んでいます。担当地区が中央区なので、都心・三宮再整備事業などの大規模案件に関わることも多く、苦労も多いですが、新しい神戸のまちづくりに関わっているという仕事にやりがいを感じています。

役に立っていると思う芸工大での学び・経験

古き良き歴史的な街並みを受け継いでいるエリアや、先進的なデザインにより新しいまちを創造していくエリアなど、神戸は様々な地域特性を持つまちで構成されています。私が所属している部署では、建築物や屋外広告物等の意匠が周辺景観に合うよう景観誘導を行うこともあり、芸工大で培われたデザインに関する知識や感性が非常に役立っています。また、芸工大で取り組んだ設計課題の敷地における実際の計画を見る機会も多々あり、学生時代の自身の設計についての解決策など、気付きが多くて面白いです。

在学生へのメッセージ

公務員を志す学生さんは、そう多くないかもしれませんが、行政の立場で関わる建築の仕事は非常にやりがいがあります。また、2~4年といった短期間での部署異動が多く、営繕・建築行政・まちづくりといった様々な分野で経験が積めるのも行政ならではのメリットです。私自身まだ一つ目の部署で、何が自分に向いているか摸索中ですが、部署が異なれば業務内容はもちろん、視点も大きく変わるため、自身の飛躍的な成長に繋がることを確信しています。

やりたいことが明確になっていない、でも建築には関わりたい、働きながらやりたいことを見つけたい、そんな方はぜひ、色々な経験が出来る公務員という道も視野に入れてみてはいかがでしょうか。

VOICE 02

株式会社 横浜DeNAベイスターズ
ビジネス統括本部　広報・コミュニケーション部
クリエイティブ・コミュニケーショングループ　制作チーム　デザイナー

中村 美帆子さん（旧姓 関さん）

ビジュアルデザイン学科 2019年卒

今の仕事でのやりがい・目標

仕事での一番のやりがいは、球場や街、ウェブサイトやショップ、SNSなどで制作したものを世に送り出し、ファンの方々にお届けすることができることです。大好きなプロ野球の仕事に携わり、チームに貢献できていることを実感できるのは、ファンの方が私の制作したものをSNSにアップしてくださったり、感想を率直に書いてくださったりしているのを見る瞬間です。

横浜スタジアムではシーズン中、沢山のスペシャルイベントが開催されます。今後の目標は、これらのイベントゲームを通し、ファンの方々に心から楽しんでいただけるような制作を行なっていくことです。

役に立っていると思う芸工大での学び・経験

在学中はグラフィックデザインコースでグラフィックデザインでの表現手法やデザインの考案方法を主に学び、興味があった写真表現についても積極的に授業を履修していました。

コースの垣根を越えて幅広い表現を履修することができ、専門の先生方に気軽に作品や手法について相談ができる環境だったと感じています。今でも先生方にアドバイスいただいたことを思い出し、制作に取り入れています。

在学生へのメッセージ

在学中に明確な目標があっても、就職していろんな物事を吸収するうちにその目標が別のものに変わることがあります。逆も然り、在学中は何がしたいか分からなくても、社会人になって、自分のしたいこと、好きなこと、嫌なことが明確になっていくこともあります。いろんなシチュエーションがあります。

私は転職も経験しましたが、デザイナーであることに変わりはなかったです。「何かひとつ、軸を決めておくこと」。そうすれば状況が変わっても自分の芯は変わらずに、作り手としていろんな経験ができると思います。

国際交流

2023 神戸芸工大(KDU) × 樹徳科技大学(STU) 異文化交流プロジェクト

神戸芸術工科大学では、台湾の樹徳科技大学と協定し、日本と台湾の文化の違いを学ぶ、1年間の交流プロジェクトを実施します。このプロジェクトでは、国内での学習やオンラインでの交流に加え、実際に現地(台湾)を訪問しての調査を通して、それぞれの文化や生活習慣・様式について、類似点や相違点を学習します。

2023年度、単位認定型の「総合プロジェクト」として開講予定で、履修対象者を新1~3年生とし、本学学生と樹徳科技大学学生の混合グループで、それぞれが設定したテーマについて、共同研究・制作を行います。期間中、本学学生は台湾を2回(夏休みと春休み)、樹徳科技大学学生も日本を2回訪問する予定です。1年間のプロジェクトを修了すれば2単位が付与されます。

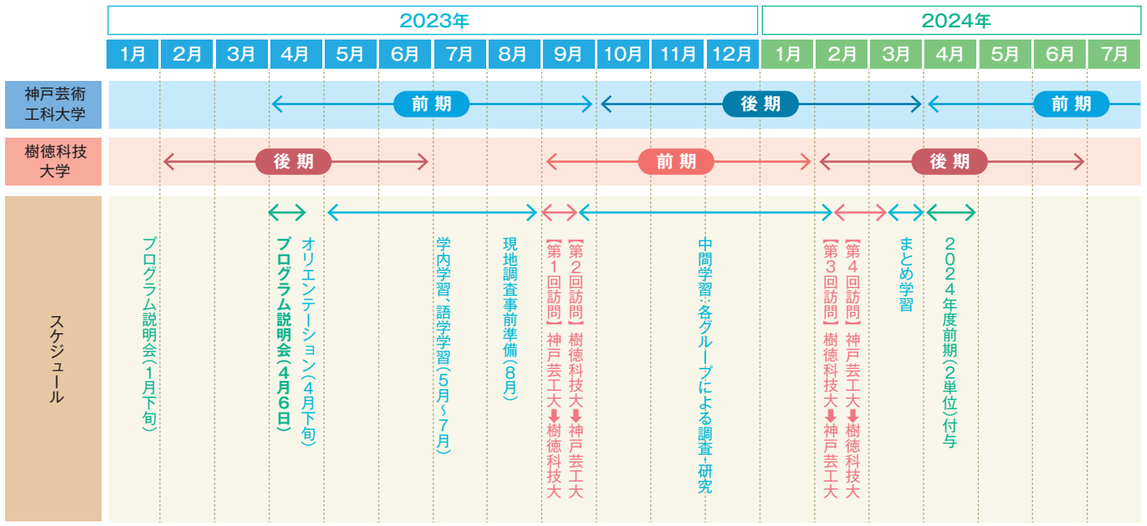
両大学の交流を通じて海外へ興味を持っていただき、専門分野を学ぶ交換留学のための導入プログラムとなることを目指しています。

食費、交通費、見学料などは個人負担となりますが、台湾への航空券代※(往復×2回)と宿泊費※は大学負担です。プロジェクトや交換留学に興味がある方は、ぜひ4月の説明会にご参加ください。 ※一部個人負担になる場合あり

樹徳科技大学(STU)

1986年に設立された台湾の高雄市燕巣区にある私立大学。
デザイン学部、マネージメント学部、情報科学部、応用社会科学部、教育学部で構成されており、デザイン学部には、ファッション、アニメーション&ゲーム、建築、インテリアデザイン、プロダクト、ビジュアルコミュニケーションなどがあり、本学の構成と似ています。

2023年度「総合プロジェクト」開講スケジュール



お問い合わせ先 学生生活・国際交流課 078-794-5024 international@kobe-du.ac.jp

Language Exchange

6月から定期的にランゲージエクスチェンジ(言語交換会)を開催しています。留学生から中国語や韓国語、インドネシア語、スペイン語を教えてもらい、日本人学生は留学生へ日本語を教えるという交流会です。言語だけに留まらず、お互いの文化や流行など、色々なことについて楽しくおしゃべりしています。どなたでも参加できます。KDUポータル掲示板で開催案内をしているので、ぜひ遊びにきてください!

英語deプレゼン!!

自分の作品について英語でプレゼンテーションができるように、みんなで練習する機会を作りました。各自がプレゼンしたい作品を持ち寄り、Global Caféのローリー先生にチェックしてもらいながら、英語の原稿を書き上げ、発音練習をしました。最後にプレゼンテーションを行い、発表内容についてお互いの意見を交換しました。

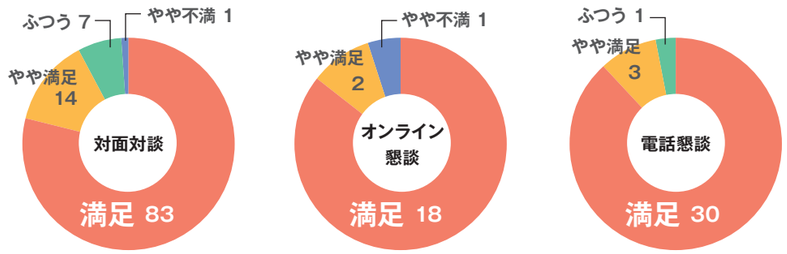
交換留学を目指す人、就活の練習など、色々な場面で役に立つ力を養うことができました。

教育後援会からのお知らせ

教育懇談会を開催しました。

2022年10月2日(日)

大学共催で教育懇談会を開催。対面115組、オンライン44組、電話61組、計220組(前年比1.3倍)の保護者の皆様にご参加いただき、たくさんの満足のお声をいただきました。



保護者からのお声

普段の子供の様子、家ではあまり見せない姿を知ることができました。(1年)

就活において、色々サポート頂けているのが分かり、安心しました。本人の自覚を促して、早めに積極的に活動させたいと思います。(1年)

学科の先生がとても親身になって考えて下さり本当にありがたく思いました。助手の方にも大変お世話になり色々と気にかけて下さっているとわかり、本当に良い大学に通わせて頂いて良かったと感じました。(2年)

就職活動や子供にとって必要なことの具体的なイメージが出来るようになり、参加して良かったです。ありがとうございました。(2年)

気になっていた単位と就職のことを詳しくお話してくださり安心しました。本人が進みたい道が、今の時代は多く求められていることを知り、好きな分野に一生懸命取り組んでほしいと思います。(2年)

卒業に必要な単位を取得できるか心配だったので、いろいろと質問させていただきましたが、分かり易く丁寧に答えてくださり、ゼミでの様子も知ることが出来て良かったです。ありがとうございました。(4年)

「大学と家庭の集い」をコンセプトに開催するこの教育懇談会は、ご父母と教職員が様々な意見を交換する年1回の貴重な機会となっています。次年度も10月1日(日)の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただき、大学の現状や修学・学生生活等、様々なことについて情報交換いただければと思います。

教育後援会は、これからも学生たちのより充実した学生生活を支援してまいります。引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

教育後援会 会長 奥田 九美

芸工祭に3年ぶりに参画しました。

2022年10月15日(土)・16日(日)

例年のように、手作りケーキ販売はできませんでしたが、展示、販売、ステージ企画に参加した学生全員に軽食の差し入れを行ない、大学祭の盛り上げに貢献しました。

	1日目	2日目
おにぎり	①ツナマヨネーズ ②熟成焼鮭 ③海老マヨネーズ	①辛子明太子 ②紅しゃけ ③大きな和風ツナマヨネーズ
菓子パン	①メロンパン ②ダブルクリームパン ③もちふわ触感のパンケーキ	
惣菜パン		①コロッケパン ②焼きそばパン ③カレーパン
焼き菓子	①アーモンドポール ②ベルギーワッフル ③フィナンシェ	①オールドファッションドーナツ ②金のバームクーヘン ③ベイクドチーズケーキ

両日にわたり、おにぎり、パン、スイーツ菓子のセットを配付し、学生たちから、たくさんの笑顔と元気をいただきました。

行事予定 2023.3.29～2023.10.1

3月	
29 水	新4年生オリエンテーション
30 木	新3年生オリエンテーション
31 金	新2年生オリエンテーション
4月	
1 土	前期履修登録開始（2～4年）
4 火	入学式
5水～10月	新入生オリエンテーション
6 木	健康診断（2年、3年、博2年）
7 金	健康診断（1年、4年、院） 学費延納・分割納入手続期限
8 土	奨学金ガイダンス
10 月	学生フォーラム総会・クラブ紹介・新入生歓迎会
11 火	前期授業開始
13 木	交通安全講習会①
14 金	交通安全講習会②
17 月	前期履修登録締切
27 木	前期学費納入日
29 土	土曜日の通常授業日／昭和の日
5月	
31 水	体育会系クラブ・サークル加入者心電図検査
6月	
1木～30金	進路面談／キャリアセンター室（3年・院1年全員）
7月	
25火・31月	補講日
8月	
1火～5土	補講日
7月～10木	前期末試験
11 金	夏期休業開始（山の日）
15火・16水	追試験日
9月	
1 金	成績発表（4年）
5火～7木	再試験日
11 月	成績発表（1～3年） 後期オリエンテーション 後期履修登録開始
14 木	前期卒業式
19 火	後期授業開始
22 金	交通安全講習会③
23 土	土曜日の通常授業／秋分の日
	後期履修登録締切
10月	
1 日	教育懇談会（本学会場）

事務局からのお知らせ

学費納入について

2023年度学費納入は下記の通りです。

前期　2023年4月27日（木）
後期　2023年10月27日（金）

経済的な理由などから、期日までの納入が難しい場合は、「延納制度」または「分割納入制度」を利用することができます。

「延納制度」

納入期日を2ヶ月間延期することができる制度です。

「分割納入制度」

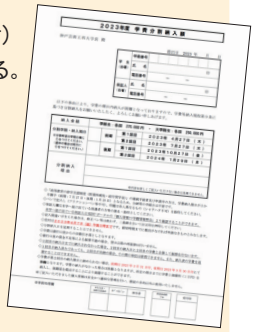
各期の納入額を2回に分割して納入できる制度です。

手続期間

前期　3月1日（水）～4月7日（金）17:00まで
後期　9月1日（金）～10月7日（土）17:00まで

手続要領

1. 所定用紙を入手する。（前期分は3/1より配付）
2. 学生・保証人の署名・捺印・必要事項を記入する。
3. 学生生活・国際交流課に提出する。



所定用紙の入手方法

A. 学生生活・国際交流課窓口で受け取る。
B. 学生用ポータルサイトからダウンロードする。
C. 大学ホームページからダウンロードする。
TOP＞学生支援＞学費＞延納制度・分割納入制度

アンケートにご協力ください

より充実した誌面作りのために、保護者のみなさまからのご意見・ご感想をお聞かせください。なお、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で30名の方に**「クオカード（1,000円分）」**を進呈いたします。ぜひご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

webにてご回答いただくか、FAXまたは写真を撮ってメール添付でお送りください。

① Webアンケート回答は
https://x.gd/p4tVF
※右記のQRコードから送信いただけます。

② メール写真添付送信先は
kdu-i@kobe-du.ac.jp

③ FAX送信先は　078-794-5027

KDUi Vol.34-2 | 2023・3 No.95

神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY

編集・発行…… 神戸芸術工科大学　学生生活・国際交流課
〒651-2196　神戸市西区学園西町8-1-1
TEL 078-794-5024　FAX 078-794-5027
HP▶https://www.kobe-du.ac.jp/about/release/kdui/
E-mail▶kdu-i@kobe-du.ac.jp